特　記　仕　様　書

業務番号　令和８年度　第2072号

業 務 名　大森幹線排水路機能保全計画策定業務

業務場所　東近江市林田町地先

（業務の目的）

第１条　本業務は、大森幹線排水路（パイプライン コンクリート管　φ2,000～2,200　Ｌ＝1.67キロメートル）について、機能診断調査及び機能保全計画策定を行うものである。

（共通事項）

第２条　本業務の履行に当たっては、「土木設計業務等共通仕様書　農業農村整備編」（令和７年６月滋賀県農政水産部耕地課制定）（以下「共通仕様書」という。）に準拠するほか、この特記仕様書に基づき実施するものとする。

なお、重複する事項については、本仕様書を優先する。

２　設計書、特記仕様書に記載されていない事項でも、業務実施上当然必要な軽微なことは、受注者（以下「乙」という。）の負担において実施しなければならない。

３　業務の簡易な部分について、監督員が承諾した場合は、業務委託必携及びこの特記仕様書によらないことができる。

（法令等の遵守）

第３条　乙は、本業務の実施に当たり、関連する法令等に留意・準拠し、業務を実施しなければならないものとする。

（不当介入に関する通報制度）

第４条　乙は、暴力団員等（暴力団の構成員及び暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとする全ての者をいう。）による不当介入（不当な要求又は業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。

２　乙は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別記様式第１号※）により所轄警察署に届け出るとともに、監督員に報告するものとする。また、乙は以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む。）に対して、十分に指導を行うものとする。

※特記仕様書の最後に掲載

３　乙は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

（業務内容）

第５条　機能診断調査及び機能保全計画策定の業務内容は、以下のとおりとする。

(1) 現地踏査

事前調査で得られた情報を参考に、遠隔目視により変状の有無や変状箇所の特定を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査（定点調査）を行う調査地点、調査項目等を選定、

検討する。

(2) 管内面調査（水替工を含む）

管径800ミリメートル以上で、かつ進入が可能な区間については、事前に管内の水替を実施した上で管内面調査を実施する。調査は、管内から施設の変状を定量的に把握（ひび割れ・欠損等の目視確認、継手間隔計測、変状等計測）し、調査結果を整理する。

(3) 業務準備

調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。

(4) 事前調査（資料調査）

施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し診断評価の基礎材料とする。

(5) 事前調査（問診調査）

施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状個所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。

(6) 施設機能の検討

資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。

(7) 施設の影響度評価

事前調査及び現地踏査結果を基に、施設の影響度を評価する。

(8) 性能低下要因の推定

事前調査及び現地踏査結果を基に、性能低下の推定を行う。また、環境（水質又は周辺環境）条件による性能低下の可能性があるか推定する。

(9) 現地調査（定点調査）・計画の作成

事前調査、現地踏査及び施設の影響度等を勘案し、現地調査（定点調査）の範囲・調査地点の密度及び調査手法を設定する。

(10) 健全度評価

調査結果に基づき、調査単位毎に施設の健全度の判定を行う。

(11) 性能低下予測

性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測を行う。

(12) 管理水準の設定

性能低下予測の結果を基に、構造の安全率、施設の影響度及び経済性を踏まえ、各施設の管理水準を設定する。

(13) 機能保全対策の検討

施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定し、選定された対策工法・実施時期・実施範囲を組み合わせて対策シナリオを複数作成する。

(14) 機能保全コストの算定

対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較する。

(15) 機能保全計画の策定

機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設重要度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を策定する。

なお、状況監視等を継続する必要があると認められる施設については、経年変化状況把握などのための施設監視計画を作成する。

(16) 点検取りまとめ

各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。

（適用図書）

第６条　本業務においては、下記の図書を適用するものとする。

(1) 農業水利施設の機能保全の手引き（令和５年４月）

(2) 農業水利施設の機能保全の手引き「パイプライン」（平成28年８月）

(3) 農業水利施設の長寿命化のための手引き（平成27年11月）

(4) 農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【パイプライン編】（案）（平成29年４月）

(5) その他、農林水産省、滋賀県等関係機関の定めた計画基準・指針等

（提出書類）

第７条　乙は、業務の着手時及び完了時に次の書類を提出するものとする。

１　着手届

２　委託業務工程表

３　管理技術者届（設計）

４　照査技術者届（設計）

５　業務計画書

６　照査報告書

７　完了届

８　目的物引渡書

９　担当技術者届

（技術者等）

第８条　本業務の実施に際し、乙は管理技術者及び照査技術者は、次の資格及び実績を有する者を定め、発注者（以下「甲」という。）に通知するものとする。乙は通知した技術者をもって、秩序正しく業務を行わなければならないものとする。

(1) 技術士（農業部門「農業土木」）又は技術士（農業部門「農業農村工学」）

(2) 公告日から過去５年以内に公共団体発注の管内目視調査を含むパイプライン機能診断及び機能保全計画策定業務（公告の前日までに完了したものに限る。）を管理技術者又は照査技術者として着手から完了まで行った実績を有すること。

（業務計画）

第９条　乙は、あらかじめ本業務に必要な業務計画書を作成し、甲の承認を受けなければならない。

２　乙は作業の進捗状況について、随時甲に報告しなければならない。

３　乙は工程に変更が生じた場合は、速やかに甲に報告し、その対策について協議しなければならない。

（打合せ協議等）

第10条　本業務の実施に当たっては、監督員と管理技術者は常に綿密な連絡をとり、業務の方針及び条件の疑義を正すものとする。

打合せ協議は、業務着手時、中間打合せ３回、成果品納入時の計５回を行うものとし、打合せ内容については、協議記録簿に記録し、相互に確認して提出するものとする。

（土地の立ち入り等）
第11条　乙は、屋外で行う調査業務等を実施するため公有地又は私有地に立入る場合は、監督員及び関係者と十分な協調を保ち調査業務等が円滑に進捗するように努めなければならない。
　なお、やむを得ない理由により現地への立入りが不可能となった場合には、直に監督員に報告し指示を受けなければならない。
２　乙は、調査業務実施のため植物伐採、かき、さく等の除去又は土地若しくは工作物を一時使用する時は、あらかじめ監督員に報告するものとし、報告を受けた監督員は当該土地所有者及び占有者の許可を得るものとする。
　なお、第三者の土地への立入りについて、当該土地占有者の許可は、甲が得るものとするが監督員の指示がある場合は乙はこれに協力しなければならない。
３　乙は、前項の場合において生じた損失のため必要となる経費の負担については、監督員と協議により定めるものとする。
４　乙は、第三者の土地への立入りに当たっては、あらかじめ身分証明書交付願を甲に提出し身分証明書の交付を受け、現地立入りに際しては、これを常に携帯しなければならない。
　なお、乙は、立入り作業完了後10日以内に身分証明書を甲に返却しなければならない。

（関係機関との協議）
第12条　本業務の履行に際し、関係機関と協議を行う場合には、誠意をもってこれに当たるほかその内容を遅滞なく甲に報告しなければならない。

（疑義の解釈）
第13条　本仕様書に定める事項について、疑義が生じた場合又は本仕様に定めのない事項について、疑義が生じた場合は甲・乙協議によりこれを定めるものとする。

（中立性の確保）
第14条　乙は、常にコンサルタントとしての中立性を堅持するよう努めなければならない。また、本業務の履行に際して知り得た事項については、甲の承諾のない限りこれを第三者に漏らしてはならない。

（照査の実施）
第15条　本委託業務の照査に当たっては、照査技術者は照査計画を作成の上、業務計画書に記載し、照査に関する事項を定めなければならない。
２　本業務は、照査技術者により照査を行うものであり、受注者の責において照査技術者自身による照査を行わなければならない。業務の節目毎にその成果の確認を行うとともに、成果の内容を発注者へ報告するものとする。
３　成果品提出時に照査報告書として提出すること。

（成果品）
第16条　報告書の製本は、Ａ－４版で２部とし表紙には設計業務の標題をするものとする。
２　報告書はチューブファイルとする。
３　成果品は業務委託必携成果品一覧表によるほか、電子成果品のデータとして図面類はｄｗｇ形

式（2002)、数量計算書等文書類はExcel又はWord形式にてＣＤで提出するものとする。

（成果品の帰属）

第17条　成果品及び成果品の著作権については、甲の帰属とし、乙は甲の承諾を得ないで公表又は貸与してはならない。

（検査）

第18条　乙は、業務完了の際には管理技術者及び照査技術者が成果品を持参し、甲の検査を受けなければならない。

（業務の完了）

第19条　業務の検査完了後、本仕様書に基づき成果品を納入し、業務の完了とする。

２　乙の責務の帰すべき事由による事象が発見した場合には、乙は業務完了後であっても停滞なくこれを修正するものとし、これに係る費用は乙の負担とする。

３　設計内容については、実施時に変更及び修正が必要になった場合対応すること。

別記様式第１号（第１条関係）

令和　　年　　月　　日

不当介入（不当要求・業務妨害）事案通知書

滋賀県　東近江　警察署長　様
　　東近江　市　長　　様

通報者
取扱署等　滋賀県　　警察署　　課

受注者	所在地	（本社）　電話（　　）　－ FAX（　　）　－
		（現場事務所）　電話（　　）　－ FAX（　　）　－
	名　称	
	代表者	（現場事務所の代表者）
	通報者等	（通報者の職・氏名）　電話（　　）　－
		（対応者） 所属会社名　電話（　　）　－
		氏　名
		役　職
不当介入の行為者	住所	電話（　　）　－ FAX（　　）　－
	所属	
	役職	
	氏名	
発生日時	令和　　年　　月　　日、　　時　　分ころ	
場　所	〔元請・下請〕（下請けの場合は、現場事務所の所在地） 電話（　　）　－ FAX（　　）　－	
工事件名		
不当介入の内容・被害状況		
警察への通報状況	（警察への通報）　有　・　無	
	（通報先警察署）　滋賀県　　警察署　　課	
	（通報日時）　令和　　年　　月　　日、　　時　　分ころ	

注1　第一報は、この様式に必要事項を記入した上、東近江警察署刑事第二課あて電話で行った後、その旨を「警察への通報の状況」の欄に記入して発注者及び東近江警察署あて送付（電子メール・FAX可）すること。

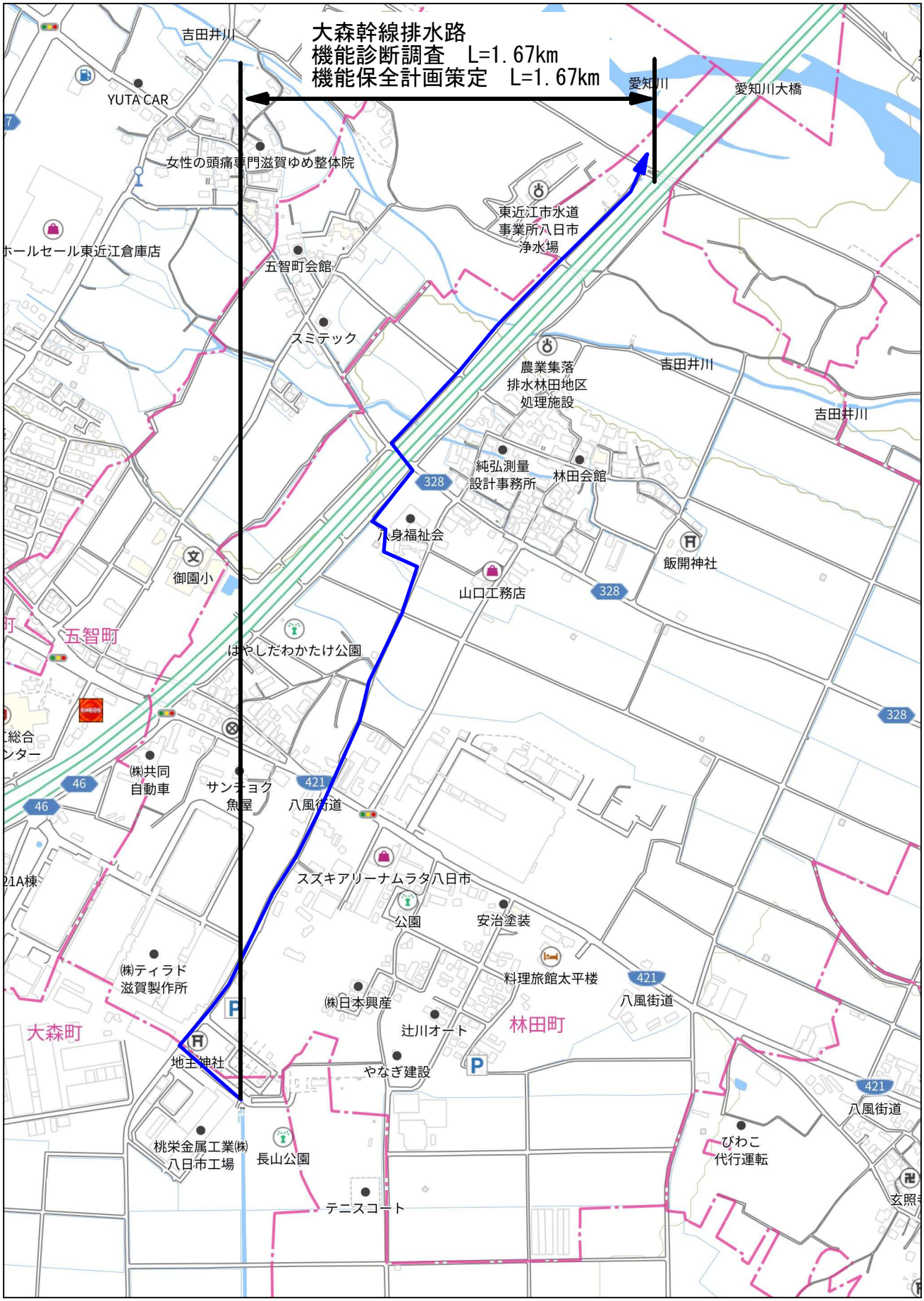
2　不当介入の行為者の名刺、提示物等の参考資料がある場合は、その写しを添付すること。

3　下請負先（再委託先）において発生した場合であっても、必ず元請負人（受注者）が聞取り調査をして記入し、通報すること。

4　※の欄は、警察署において記入すること。

位 置 図

滋賀県東近江市林田町付近

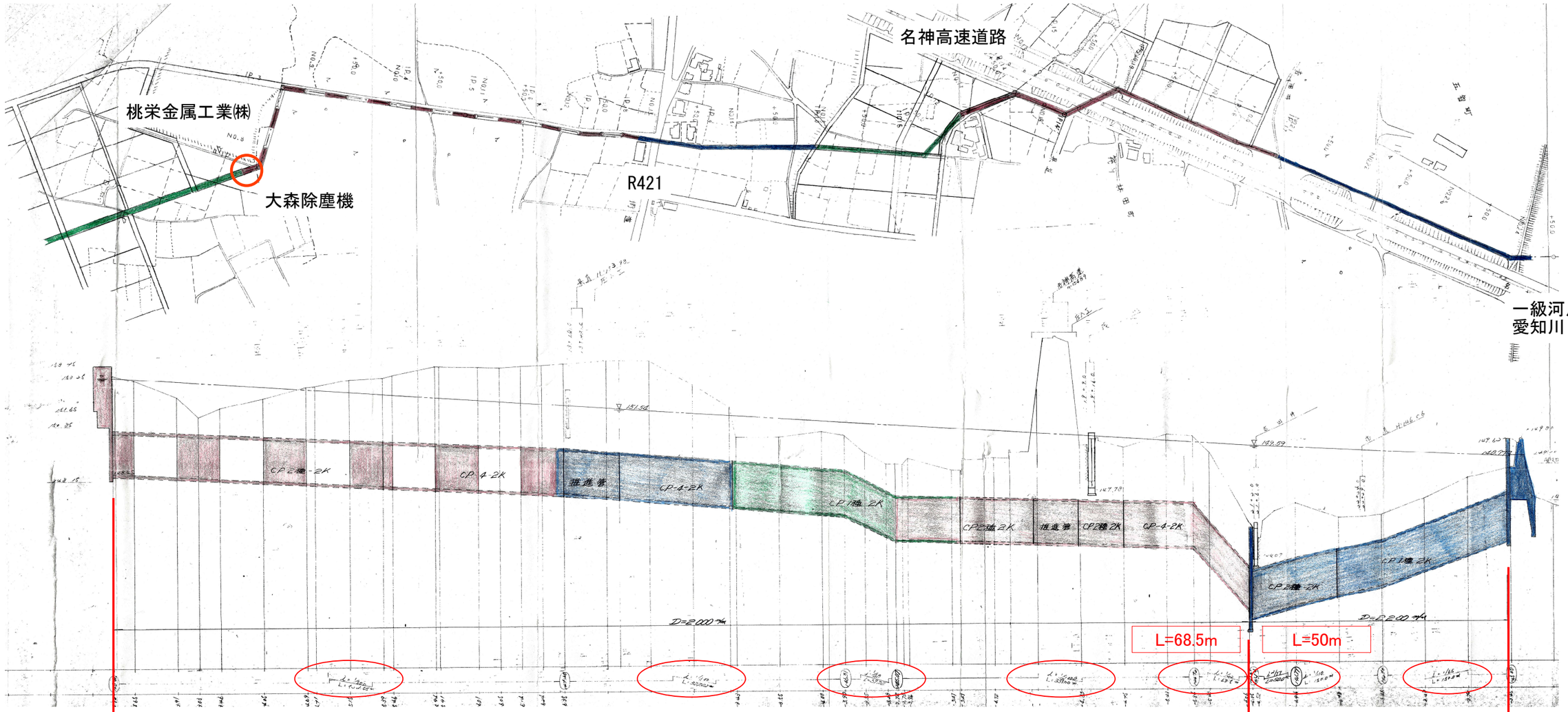


280m

Copyright(C)2025 ZENRIN CO., LTD.

禁無断複写複製
滋賀県東近江市

大森幹線排水路（平面図・側面図）



φ2,000　L=524.55+327.02+59.02+339+68.5=1318.09≒1320m
A=2.0×π×1318=8277.04≒8280㎡

φ2,200　L=50+150+150=350m
A=2.2×π×350=2417.8≒2420㎡

L=1320+350=1670m
A=8280+2420=10700㎡

								東近江市

令和８年度

大森幹線排水路機能保全計画策定業務　　当初実施 設計書

施工位置　東近江市林田町地先　　全体

所属

一金　　円也　（内消費税及び地方消費税相当額　円）
工 事 価 格　円）

工 事 概 要		起 工 （ 変 更 ） 理 由
	今回	
	機能診断調査　N=　1.0　式	
	（L=1.67km、φ2,000～2,200mm）	
	機能保全計画策定　N=　1.0　式	
	（L=1.67km）	

事業費総括表

工事名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務		
費目	金額	摘要	備考
事業費			
工事費			
本工事費			
附帯工事費			
測量及び試験費			
用地費及び補償費			
機械器具費			
営繕費			
工事雑費			
応急工事費			
事務費			
計			

誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和８年度

大森幹線排水路機能保全計画策定業務

金抜設計書(参考)

（当初）

東近江市

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

項　目　名	内　　容
事業主体名	東近江市
事業名	
地区名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務
施工場所	東近江市林田町地先
業務番号	
業務区分	
積算区分	当初積算
地域区分	滋賀県（県基準）
地区区分	東近江地区
工期	
積算体系年月	令和８年８月
単価期適用年月	令和８年８月―A
歩掛期適用年番号	令和８年９９号―A
電力会社名	関西電力

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

番号	項　目　名	規　　格	数　量	単位	金　額	備　考
	業務費					
	・総合業務価格					
	・消費税相当額（１０％）					
	総合業務価格内訳					
	業務積算（調査）					
	業務積算（設計）					
	業務内容					
	業務積算（調査）					
	業務積算（設計）					

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

項　目　名	内　　容
業務名	
業務区分	
積算区分	当初積算
積算体系区分	【調査業務】
工種区分	調査業務（一般）
工種体系区分	
工事工種体系年番号	
前払金支出割合	35%を超え40%以下
電力区分	低圧・業者持・１年未満
冬期補正	なし
施工地域区分(H31迄)	補正なし
週休２日補正	補正なし
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	しない
3次元出来形管理補正(共通仮設費)	補正なし
3次元出来形管理補正(現場管理費)	補正なし

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

項 目 名	数 量	単位	金 額	備 考
1 調査業務価格	1.000	式		
2 ・一般調査業務費	1.000	式		
3 ・・純調査業務費	1.000	式		
4 ・・・直接調査費（諸経費対象）	1.000	式		
5 ・・・・直接人件費～機械経費	1.000	式		
6 ・・・・直接経費（電子成果品作成費）	1.000	式		
7 ・・・間接調査費	1.000	式		
8 ・・・・間接調査費（施工管理費以外）	1.000	式		
9 ・・・・施工管理費				
		%		
10 ・・諸経費	1.000	式		
11 ・・・諸経費（率計上）				
		%		

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接人件費～機械経費内訳				
直接人件費～機械経費	1.000	式		
・地質調査業務	1.000	式		
・・地質調査業務	1.000	式		
・・・ 現地踏査	1.000	式		
・・・ 管内面調査 水替工 φ2,200㎜～2,000㎜	1.000	式		
・・・ 管内面調査 近接目視調査 φ2,200㎜～2,000㎜	1.000	式		

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
間接調査費（施工管理費以外）内訳				
間接調査費（施工管理費以外）	1.000	式		
・旅費交通費	1.000	式		
・・旅費交通費	1.000	式		
・・・ 旅費交通費（調査外業日帰用）	1.000	式		

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接人件費～機械経費					
・地質調査業務	1.000	式			
・・地質調査業務	1.000	式			
・・・ 現地踏査	1.670	km			1 km当たり
S65001　現地踏査（コンクリート構造物） 線的構造物	1.000	km			歩A・単A S単　5号
合　計					
・・・ 管内面調査　水替工 φ2,200㎜～2,000㎜	6.000	日			1 日当たり
T00002　水替工	1.000	日			歩A・単A T単　1号
合　計					
・・・ 管内面調査　近接目視調査 φ2,200㎜～2,000㎜	1.000	式			1 式当たり
T00003　近接目視調査	10,700.000	㎡			歩A・単A T単　2号
合　計					

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
間接調査費（施工管理費以外）					
・旅費交通費	1.000	式			
・・旅費交通費	1.000	式			
・・・ 旅費交通費（調査外業日帰用）	1.000	式			1 式当たり
S63036 ≪旅費交通費（調査外業宿泊用）≫ ライトバン,20日,1時間	1.000	式			歩Ａ・単Ａ Ｓ単　4号
合　計					

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　S単－ 1号　＊＊＊					
S02115	技師（A）		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師（A）			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分	R04004 基(B)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
R04004	技師（A）	1.000	人			
	合　計					算出数量 1.000 人
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 2号　＊＊＊					
S02115	技師（C）		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師（C）			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分	R04006 基(B)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
R04006	技師（C）	1.000	人			
	合　計					算出数量 1.000 人
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 3号　＊＊＊					
S02115	技術員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技術員			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分	R04007 基(B)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
R04007	技術員	1.000	人			
	合　計					算出数量 1.000 人
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 4号　＊＊＊					
S63036	≪旅費交通費（調査外業宿泊用）≫		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	≪旅費交通費（調査外業宿泊用）≫ ライトバン,20日,1時間			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)交通機関区分 2)高速道路往復料金（税別）	ライトバン		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	3)鉄道往復料金[全員分合算]（税別） 4)バス往復料金[全員分合算]（税別）					
	5)船舶往復料金[全員分合算]（税別） 6)航空往復料金[全員分合算]（税別）					
	7)ライトバン使用日数 8)時間区分	20日 1時間				
	9)宿泊料金[全員分合算]（税別） 10)宿泊手当[全員分合算]（税別）	 0円				
	11)落札率	0.000000				
M28121	ﾗｲﾄﾊﾞﾝ[ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	20.000	日			
P34001	ガソリン ＪＩＳ２号　レギュラースタンド	54.000	L			
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　S単－ 5号　＊＊＊					
S65001	現地踏査（コンクリート構造物）		km		1.000 日	歩A 当たり算出
	現地踏査（コンクリート構造物） 線的構造物			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)対象構造物	線的構造物		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
R04004	技師（A） 外業	1.000	人			

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
R04005	技師（Ｂ） 外業	1.000	人			
R04007	技術員 外業	1.000	人			
	機械経費	0.014				
	材料費	0.008				
	合　計					算出数量 6.000［各単位］
	単　価		［各単位］			
Y00001	単位					

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　T単－ 1号　＊＊＊					
T00002	水替工		日		1.000 日	歩Ａ 当たり算出
S02115	技師（A）	1.000	人			Ｓ単　1号
S02115	技師（C）	1.000	人			Ｓ単　2号
S02115	技術員	1.000	人			Ｓ単　3号
P96003	部材・機材・経費計 水替工	1.000	式			
	合　計					算出数量 1.000 日
	単　価		日			
	＊＊＊　T単－ 2号　＊＊＊					
T00003	近接目視調査		㎡		1,000.000 ㎡	歩Ａ 当たり算出
S02115	技師（A）	1.000	人			Ｓ単　1号
S02115	技師（C）	1.000	人			Ｓ単　2号
S02115	技術員	1.000	人			Ｓ単　3号
P96004	部材・機材・経費計 近接目視調査	1.000	式			
	合　計					算出数量 1,000.000 ㎡
	単　価		㎡			

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
P96003	部材・機材・経費計 水替工		式	3,420		Ｔ単　1号
P96004	部材・機材・経費計 近接目視調査		式	1,260		Ｔ単　2号

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

項　目　名	内　　容
業務名	
業務区分	
積算区分	当初積算
積算体系区分	設計業務
工種区分	実施設計以外
工種体系区分	
工事工種体系年番号	
前払金支出割合	35%を超え40%以下
電力区分	低圧・業者持・１年未満
冬期補正	なし
施工地域区分(H31迄)	補正なし
週休２日補正	補正なし
熱中症対策補正（現場管理費）	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	しない
3次元出来形管理補正(共通仮設費)	補正なし
3次元出来形管理補正(現場管理費)	補正なし

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

項　目　名	数　量	単位	金　額	備　考
1 設計業務価格	1.000	式		
2 ・業務原価	1.000	式		
3 ・・直接原価	1.000	式		
4 ・・・直接人件費	1.000	式		
5 ・・・直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式		
6 ・・・直接経費（電子成果品作成費）	1.000	式		
7 ・・その他原価	1.000	式		
8 ・・・その他原価（率計上）				
		%		
9 ・一般管理費等				
		%		

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

工 種 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接人件費内訳				
直接人件費	1.000	式		
・設計業務	1.000	式		
・・設計業務 機能保全計画策定 パイプライン	1.000	式		
・・・ 機能保全計画策定 パイプライン L=1.67km	1.000	式		
・・・ 機能保全計画策定 現地調査計画作成	1.000	式		
・・・ 機能保全計画策定 管理水準の設定	1.000	式		
・・・ 打合せ 中間３回	1.000	式		

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

工　種　名　称	数　量	単位	金　額	備　考
直接経費(電子成果品作成費を除く)内訳				
直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式		
・直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式		
・・直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式		
・・・ 旅費交通費 (設計)	1.000	式		
・・・ 報告書印刷製本費	1.000	式		

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
直接人件費					
・設計業務	1.000	式			
・・設計業務 機能保全計画策定　パイプライン	1.000	式			
・・・ 機能保全計画策定 パイプライン　L=1.67km	1.000	式			1 式当たり
T00004　業務準備	1.000	式			歩A・単A T単　1号
T00005　事前調査　資料調査	1.000	式			歩A・単A T単　2号
T00006　事前調査　問診調査	1.000	式			歩A・単A T単　3号
T00007　施設機能の検討	1.000	式			歩A・単A T単　4号
T00008　施設の影響度評価（及び構成要素の段階整理）	1.000	式			歩A・単A T単　5号
T00009　性能低下要因の推定	1.000	式			歩A・単A T単　6号
T00010　健全度評価	1.000	式			歩A・単A T単　7号
T00011　性能低下予測	1.000	式			歩A・単A T単　8号
T00012　機能保全対策の検討	1.000	式			歩A・単A T単　9号
T00013　機能保全コストの算定	1.000	式			歩A・単A T単　10号
T00014　機能保全計画の検討	1.000	式			歩A・単A T単　11号
T00015　点検取りまとめ	1.000	式			歩A・単A T単　12号
合　計					
・・・ 機能保全計画策定 現地調査計画作成	1.000	式			1 式当たり
T00016　現地調査（定点調査）計画の作成	1.000	式			歩A・単A T単　13号
合　計					
・・・ 機能保全計画策定 管理水準の設定	1.000	式			1 式当たり
T00017　管理水準の設定	1.000	式			歩A・単A T単　14号
合　計					
・・・ 打合せ 中間３回	1.000	式			1 式当たり
S63010　打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日	1.000	回			歩A・単A S単　5号
S63010　打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0日	3.000	回			歩A・単A S単　6号
S63010　打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日	1.000	回			歩A・単A S単　5号
合　計					

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

名 称（規 格）	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
直接経費(電子成果品作成費を除く)					
・直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式			
・・直接経費(電子成果品作成費を除く)	1.000	式			
・・・ 旅費交通費（設計）	1.000	式			1 式当たり
S63018 旅費交通費（設計外業日帰用） ライトバン,5日,1時間	1.000	式			歩A・単A S単 7号
合 計					
・・・ 報告書印刷製本費	1.000	式			1 式当たり
P96001 報告書印刷製本費	2.000	部			歩A・単A
合 計					

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　S単－ 1号　＊＊＊					
S02115	主任技師		人		1.000 人	歩Ａ 当たり算出
	主任技師			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分	R04003 基(B)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
R04003	主任技師	1.000	人			
	合　計					算出数量 1.000 人
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 2号　＊＊＊					
S02115	技師（A）		人		1.000 人	歩Ａ 当たり算出
	技師（A）			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分	R04004 基(B)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
R04004	技師（A）	1.000	人			
	合　計					算出数量 1.000 人
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 3号　＊＊＊					
S02115	技師（B）		人		1.000 人	歩Ａ 当たり算出
	技師（B）			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分	R04005 基(B)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
R04005	技師（B）	1.000	人			
	合　計					算出数量 1.000 人
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 4号　＊＊＊					
S02115	技師（C）		人		1.000 人	歩Ａ 当たり算出
	技師（C）			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)労務ｺｰﾄﾞ 2)労務単価算定区分	R04006 基(B)		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
R04006	技師（C）	1.000	人			
	合　計					算出数量 1.000 人
	単　価					
	＊＊＊　S単－ 5号　＊＊＊					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1.000 回	歩Ａ 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 1.00人				
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	0.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.000日				
R04003	主任技師	0.500	人			
R04004	技師（A）	0.500	人			
	合　計					算出数量 1.000 回
	単　価		回			

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

コード	名　称	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　Ｓ単－ 6号　＊＊＊					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1.000 回	歩Ａ 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0日			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 中間		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	0.00人 1.00人				
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	1.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.000日				
R04004	技師（A）	0.500	人			
R04005	技師（B）	0.500	人			
	合　計					算出数量 1.000 回
	単　価		回			
	＊＊＊　Ｓ単－ 7号　＊＊＊					
S63018	旅費交通費（設計外業日帰用）		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
	旅費交通費（設計外業日帰用） ライトバン,5日,1時間			冬期補正:なし 超勤時間:0.0	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	
	1)交通機関区分 2)高速道路往復料金（税別）	ライトバン		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	3)鉄道往復1人当料金（税別） 4)バス往復1人当料金（税別）					
	5)船舶往復1人当料金（税別） 6)航空往復1人当料金（税別）					
	7)ライトバン使用日数の入力 8)時間区分	5日 1時間				
	9)設計用技師長外業日数 10)設計用主任技師外業日数	0.000日 0.000日				
	11)設計用技師Ａ外業日数 12)設計用技師Ｂ外業日数	0.000日 0.000日				
	13)設計用技師Ｃ外業日数 14)設計用技術員外業日数	0.000日 0.000日				
M28121	ﾗｲﾄﾊﾞﾝ[ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	5.000	日			
P34001	ガソリン ＪＩＳ２号　レギュラースタンド	13.500	L			
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　T単－ 1号　＊＊＊					
T00004	業務準備		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	1.450	人			Ｓ単　1号
S02115	技師（Ａ）	1.890	人			Ｓ単　2号
S02115	技師（Ｂ）	1.700	人			Ｓ単　3号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 2号　＊＊＊					
T00005	事前調査　資料調査		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	技師（Ａ）	0.770	人			Ｓ単　2号
S02115	技師（Ｂ）	1.540	人			Ｓ単　3号
S02115	技師（Ｃ）	1.540	人			Ｓ単　4号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 3号　＊＊＊					
T00006	事前調査　問診調査		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	技師（Ａ）	1.170	人			Ｓ単　2号
S02115	技師（Ｂ）	1.170	人			Ｓ単　3号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 4号　＊＊＊					
T00007	施設機能の検討		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	0.430	人			Ｓ単　1号
S02115	技師（Ａ）	1.040	人			Ｓ単　2号
S02115	技師（Ｂ）	0.980	人			Ｓ単　3号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 5号　＊＊＊					
T00008	施設の影響度評価（及び構成要素の段階整理）		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	0.660	人			Ｓ単　1号
S02115	技師（Ａ）	1.240	人			Ｓ単　2号
S02115	技師（Ｂ）	1.170	人			Ｓ単　3号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
	＊＊＊　Ｔ単－ 6号　＊＊＊					
T00009	性能低下要因の推定		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	0.730	人			Ｓ単　1号
S02115	技師（Ａ）	1.520	人			Ｓ単　2号
S02115	技師（Ｂ）	1.320	人			Ｓ単　3号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　Ｔ単－ 7号　＊＊＊					
T00010	健全度評価		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	0.420	人			Ｓ単　1号
S02115	技師（Ａ）	1.160	人			Ｓ単　2号
S02115	技師（Ｂ）	1.080	人			Ｓ単　3号
S02115	技師（Ｃ）	1.250	人			Ｓ単　4号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　Ｔ単－ 8号　＊＊＊					
T00011	性能低下予測		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	0.340	人			Ｓ単　1号
S02115	技師（Ａ）	0.880	人			Ｓ単　2号
S02115	技師（Ｂ）	1.020	人			Ｓ単　3号
S02115	技師（Ｃ）	0.610	人			Ｓ単　4号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　Ｔ単－ 9号　＊＊＊					
T00012	機能保全対策の検討		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	1.220	人			Ｓ単　1号
S02115	技師（Ａ）	2.430	人			Ｓ単　2号
S02115	技師（Ｂ）	1.660	人			Ｓ単　3号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　Ｔ単－ 10号　＊＊＊					
T00013	機能保全コストの算定		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	技師（Ａ）	0.840	人			Ｓ単　2号

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
S02115	技師（B）	1.340	人			S単　3号
S02115	技師（C）	2.380	人			S単　4号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 11号　＊＊＊					
T00014	機能保全計画の検討		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	0.910	人			S単　1号
S02115	技師（A）	1.630	人			S単　2号
S02115	技師（B）	1.580	人			S単　3号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 12号　＊＊＊					
T00015	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	1.100	人			S単　1号
S02115	技師（A）	0.860	人			S単　2号
S02115	技師（C）	1.100	人			S単　4号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 13号　＊＊＊					
T00016	現地調査（定点調査）計画の作成		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	1.000	人			S単　1号
S02115	技師（A）	1.500	人			S単　2号
S02115	技師（C）	2.000	人			S単　4号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			
	＊＊＊　T単－ 14号　＊＊＊					
T00017	管理水準の設定		式		1.000 式	歩Ａ 当たり算出
S02115	主任技師	0.500	人			S単　1号
S02115	技師（A）	1.500	人			S単　2号
	合　計					算出数量 1.000 式
	単　価		式			

事業名	
業務名	大森幹線排水路機能保全計画策定業務

コード	名　称（規　格）	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
P96001	報告書印刷製本費		部	7,500		